

まふとち通信

(まふ (MAFF)) は、農林水産省の英語表記「Ministry of Agriculture, Forestry and Fisheries」の略称です

本誌のご案内



- 令和7年度豊かなむらづくり全国表彰
農林水産大臣賞受賞 株式会社美土里農園
- 令和8年度農林水産予算概算決定の概要
- 統計情報 2025年農林業センサス結果の概要 (栃木県・概数値)
- 養鶏農家の皆様へ ◇高病原性鳥インフルエンザにご注意ください◇
- 情報コーナー

令和7年度豊かなむらづくり全国表彰 農林水産大臣賞受賞 株式会社美土里農園 (芳賀郡茂木町)

農林水産省では、農山漁村における「むらづくり」の優良事例を表彰し、その業績を広く紹介することを通じて、農山漁村におけるむらづくりの全国的な展開に繋げていくために、毎年度、農林水産祭の一部門として「豊かなむらづくり全国表彰事業」を実施しています。

この度、令和7年度の農林水産大臣賞として関東農政局管内で3団体が受賞し、そのうち栃木県では芳賀郡茂木町の「株式会社美土里農園」が受賞しました。

取組概要

【完熟いちごがつくる人と地域と笑顔の里】

・遊休農地対策として、じゃがいも等の収穫体験を通じた都市農村交流を行うなど、地元を盛り上げたいとの思いから、地権者が集い「深沢パパスの丘協議会」を設立。

7年間活動しましたが、高齢化や後継者不足により活動が年々縮小。再び遊休農地が目立つようになりました。

このため、町と相談し、「地域外から農業の若い担い手と呼び込み、育て、繋ぐ」をテーマに新しい形の体制づくりを進め、遊休農地の解消、生産性の向上、担い手の確保、持続可能な農業の実践のため、「株式会社美土里農園」を設立しました。

・運営する農地では、いちご (60a)、アスパラガス (18a)、そば (1.8ha) を栽培し、消費者への直接販売のほか、「道の駅もてぎ」や「いい里さかがわ館」などでも販売しています。

そばの栽培については、地元のそばの栽培団体「茂木南部農機具利用組合」と連携し、地元農村レストランへの供給体制を確立しました。

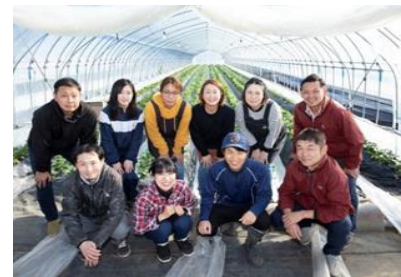
・「第1回全国いちご選手権 (令和5年)」で「とちあいか」が金賞を受賞するとともに、令和6年には、近隣のいちご農家が同選手権で金賞を受賞したこともあり、「茂木町産のいちごは完熟で甘い」と大きな宣伝効果にもなり、いちご観光農園来場者数、売上額ともに、6年間で約5倍に増加しました。

【来場者数：4,600人、売上額：5,200万円 (R5)】

・農業に携わる地域おこし協力隊員を積極的に受け入れ、令和6年までに11名が勤務。うち4名が任期満了後も、従業員として営農、総務業務に従事しています。

女性の隊員は、営業 (EC通販) 担当として、女性ならではの視点を活かし、加工品の開発やPR活動を展開しています。また、従業員数は、パート含め16名の雇用を確保し、地域活性化に貢献しています。

・いちごの収穫増や品質向上を目指し、暖房で排出されたCO₂を再利用する機器を導入するとともに、ハウス施設内のモニタリング装置を設置し、省力化も含めた実証実験を実施しており、環境負荷低減による生産を目指しています。



美土里農園の従業員の皆さん



園内いちごモニュメント

令和8年度農林水産予算概算決定の概要

新たな食料・農業・農村基本計画を踏まえ、農業構造転換集中対策を着実に実施しつつ、食料安全保障の強化、農業の持続的な発展、農村の振興、環境と調和のとれた食料システムの確立等に向けた農林水産政策を推進し、農林水産業の持続可能な成長を実現

令和8年度当初予算 2兆2,956億円（2兆2,706億円）

令和7年度補正予算 9,602億円

※（ ）内は令和7年度当初予算額

【主な内容】

①食料安全保障の強化

	【8年度当初】	【7年度当初】	【7年度補正】
○農業構造転換集中対策	494億円	(244億円)	2,410億円
○水田活用の直接支払交付金等	2,752億円	(2,870億円)	
○共同利用施設の整備	338億円	(200億円)	617億円

②農業の持続的な発展

○地域計画の実現に向けた支援	527億円		936億円
○スマート農業技術活用促進集中支援プログラム	185億円	(182億円)	529億円
○農業農村整備事業<公共>	3,365億円	(3,331億円)	2,165億円

③農村の振興

○農山漁村振興交付金	70億円	(74億円)	30億円
○鳥獣被害防止対策とジビエ利活用の推進	100億円	(100億円)	70億円

④環境と調和のとれた食料システムの確立

○みどりの食料システム戦略推進総合対策	6億円	(6億円)	40億円
○環境保全型農業直接支払交付金	28億円	(28億円)	

⑤多面的機能の発揮

○多面的機能支払交付金	500億円	(500億円)	
-------------	-------	---------	--

⑥2050年ネット・ゼロ等に貢献する「森の国・木の街」の実現に向けた森林資源循環利用施策の総合的な展開

○森林・林業・木材産業グリーン 成長総合対策	154億円	(144億円)	506億円
○森林整備事業<公共>	1,271億円	(1,256億円)	523億円

⑦海洋環境の激変に適応するための水産業の強靱化

○水産基盤整備事業<公共>	738億円	(731億円)	339億円
---------------	-------	---------	-------



★令和8年度農林水産予算概算決定

<https://www.maff.go.jp/j/budget/r&kettei.ntmi>



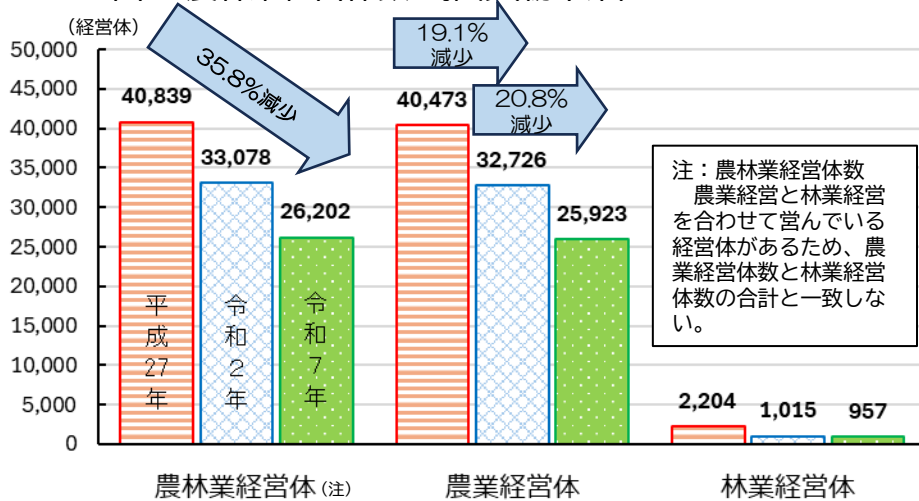
★令和7年度農林水産関係補正予算

<https://www.maff.go.jp/j/budget/r7hosei.ntmi>

統計情報 2025年農林業センサス結果の概要 (栃木県・概数値) (令和7年2月1日現在)

- 栃木県の農林業経営体数は、減少傾向（10年前に比べ▲35.8%）
- 農林業経営体数、農業経営体数は、それぞれ全国第10位、林業経営体数は、同第6位
- 農業経営体は減少（5年前に比べ▲20.8%）が続く中、法人経営体は増加（同14.2%）
- 経営耕地のある農業経営体の1経営体当たりの経営耕地面積は3.6ha（全国は2.4ha）

図1 農林業経営体数の推移(栃木県)



「農林業センサス」とは？

我が国の農林業の生産構造、就業構造を明らかにするとともに、農山村の実態を総合的に把握するために、5年ごとに農林業を営んでいるすべての農家、林家や法人を対象に調査を実施しています。



図2 農業経営体のうち個人経営体数の推移(栃木県)

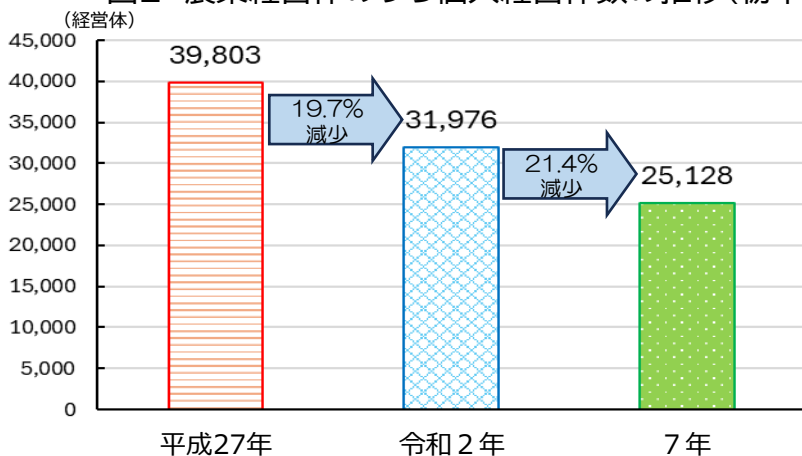


図4 経営耕地面積の推移 (1経営体当たり:栃木県)

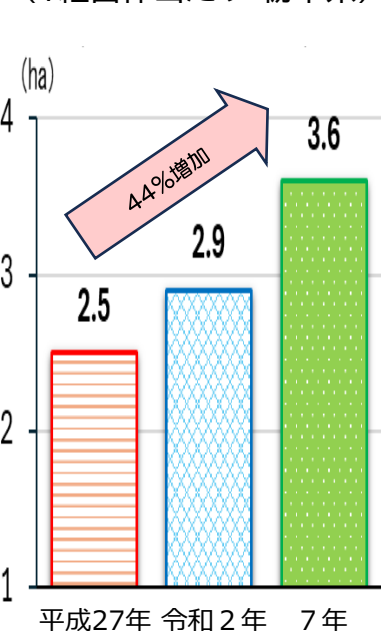
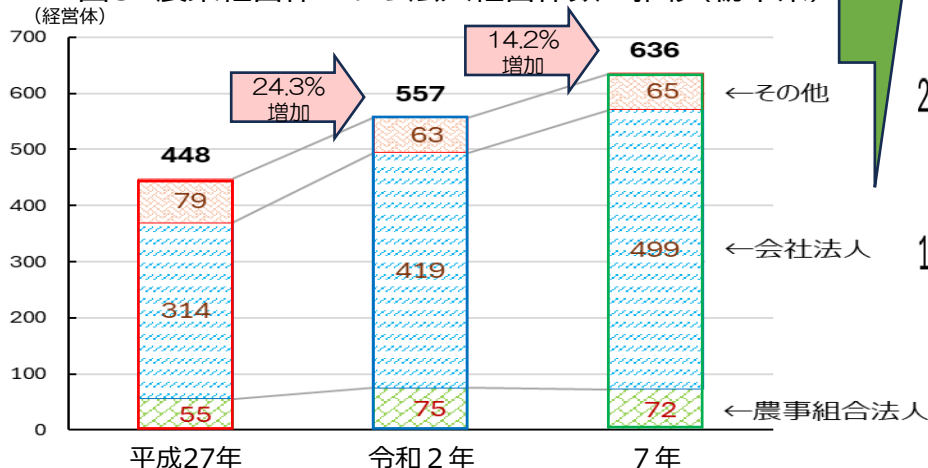


図3 農業経営体のうち法人経営体数の推移(栃木県)



資料：農林水産省統計部「2025年農林業センサス」

※詳細は、以下のURL又は二次元コードからご覧ください。



2025年農林業センサス結果の概要 (関東局・概数値)

https://www.maff.go.jp/kanto/to_jyo/kohyo/2025kekka.html#R07PR03

2025年農林業センサスの概要

<https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/noucen/gaiyou/index.html#11>



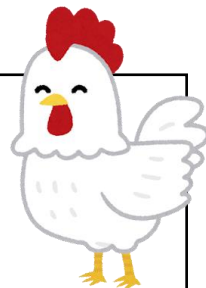
◇高病原性鳥インフルエンザにご注意ください◇

○渡り鳥の飛来により、今シーズンも高病原性鳥インフルエンザウイルスが我が国に侵入するリスクは極めて高い状況です。

○本病の発生を予防するため、地域におけるリスク低減対策を推進し、いま一度、農場におけるウイルス侵入防止対策を強化しましょう。

○飼養家さんの異常を見つけた場合は速やかに、管轄の家畜保健衛生所に連絡をお願いします。

農場における発生予防策



農場へのウイルス侵入防止対策の強化
飼養衛生管理の基本的な管理項目を**毎月点検**し、**不備があれば改善**。

■ 人、物、車両の入出時対策

- ・衛生管理区域**専用の衣服や靴**の使用。
- ・着用前後で**交差のない動線**、**明確な境界**を確保。
- ・適切な車両消毒、手指消毒の実施。
- ・**家きん舎ごとの専用の靴**の使用。

■ 野生動物の侵入防止、誘引防止

- ・家きん舎の壁、防鳥ネット等の**破損修繕**。
→特にネコ、イタチ、カラス等の侵入を防止
- ・ねずみ及び害虫の**駆除**
- ・鶏卵・鶏糞の搬出口に**覆い**を設置。
- ・餌置場の清掃、死体や廃棄卵の適切な処理など**誘引を防止**。

詳しくはこちらをご覧ください。
農林水産省 鳥インフルエンザに関する情報
<https://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/tori/>



情報コーナー

(1) 【お米に関する情報】 米に関するマンスリーレポート 🍣
農林水産省は、米に関する価格動向や需給動向に関するデータを集約・整理した「米に関するマンスリーレポート」を公表しています。ぜひご活用ください。

◆詳しくは、こちらをご覧ください。

<https://www.maff.go.jp/j/seisan/keikaku/soukatu/mr.html>



(2) 【補助事業参加者の公募】

農林水産省が参加者を募集している補助事業等を紹介します。

◆詳しくは、こちらをご覧ください。

<http://www.maff.go.jp/j/supply/hozyo/index.html#no>



(3) 【輸出に取り組む皆様へ】 お役立ち資料集

関東農政局では、農林水産物・食品の輸出拡大に向けて、関係資料等を作成しました。

特に、これから輸出の初めの一步を踏み出す農業者及び食品製造事業者の皆様の参考となるようまとめましたので、是非、ご活用いただければと思います。

◆詳しくは、こちらをご覧ください。

https://www.maff.go.jp/kanto/keiei/zygyo/yusyutu_sokushin/kanto_gfp_export_doc.html



お問合せ先：農林水産省関東農政局栃木県拠点（栃木支局）地方参事官室

〒320-0806 栃木県宇都宮市中央2-1-16

TEL：028-633-3311（代表） Mail：tochigi_sanjikansitu@maff.go.jp

ホームページ：<http://www.maff.go.jp/kanto/chiikinet/tochigi/index.html>

